

月	時間	おはじきとりゲーム (1時間)	指導の傾斜	正方形重ねゲーム (1時間)								
4月上旬	1	おはじきとりゲームを通して、5年の学習のスタートを楽しく始める。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>ねらい</th> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>友だちと協力して行う正方形重ねゲームを通して、6年生の学習のスタートを楽しく始める。</td> <td>2人組で協力して正方形重ねゲームを行う。</td> <td>・よりゲーム性が増すようにストップウォッチで時間を計る。</td> </tr> </tbody> </table>	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	1	友だちと協力して行う正方形重ねゲームを通して、6年生の学習のスタートを楽しく始める。	2人組で協力して正方形重ねゲームを行う。	・よりゲーム性が増すようにストップウォッチで時間を計る。
時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点									
1	友だちと協力して行う正方形重ねゲームを通して、6年生の学習のスタートを楽しく始める。	2人組で協力して正方形重ねゲームを行う。	・よりゲーム性が増すようにストップウォッチで時間を計る。									

1 小数と整数 (10時間+選択1時間)					1 倍数と約数 (全9時間+選択2時間)						
評価規準	<p>【関】身近な場面や図を用い、進んで小数や整数の仕組みを考えようとする。</p> <p>【考】十進位取り記数法の原理や小数第一位の表し方をもとに、より小さな量の表し方を考えることができる。</p> <p>【表】小数第三位までの数で表したり、小数点を移して、10倍、100倍、1/10、1/100などの数を作ったりすることができる。</p> <p>【知】小数の表し方や十進位取り記数法による小数・整数の仕組みがわかる。また、十進数は0から9までの数字と小数点によって表されることがわかる。</p>				<p>【関】倍数や約数の考えを問題解決や、日常生活の場面で役立てようとする。</p> <p>【考】公倍数や公約数の考えを問題解決に活用することができる。</p> <p>【表】倍数・公倍数・最小公倍数、約数・公約数・最大公約数を求めることができる。</p> <p>【知】倍数・公倍数・最小公倍数や約数・公約数・最大公約数の意味と求め方が分かる。</p>						
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
4月上旬から5月上旬	小数の表し方	4	かさについて、0.1ℓを10等分した1つ分を0.01ℓと表すことを理解し、その読み方や書き方を知る。	目分量で、やかんに1ℓの水を入れ、水の量を調べる。0.1ℓより小さいはしたの表し方を考え、0.1ℓを10等分した1つ分を0.01ℓと表すことを知る。	・1を10等分した1つが0.1であることをもとに考えさせる。		倍数と公倍数	4	倍数の意味を理解し、求めることができる。倍数は限りなくあることに気づく。	カードを縦や横に並べていくときのカードの枚数とそれぞれの長さとの関係を調べる。倍数の意味を知る。カードを縦に並べていくときのカードの枚数と縦の長さの関係を表に表し、2の倍数を見つける。	・カードの枚数と縦横の長さの関係を表にまとめさせ、倍数の意味をとらえさせる。
			長さについて、0.1mと0.01mの意味を理解する。	2m83cmをm単位で表す方法を考えることを通して、1cmが0.01mで表されることを知る。	・数直線や図を使って、小数の相対的な大きさをとらえさせる。				公倍数の意味と、公倍数の見つけ方を理解する。最小公倍数の意味を理解し、最小公倍数を求めることができる。	長方形を敷きつめて正方形を作る問題について考える。公倍数、最小公倍数の意味を知る。公倍数の求め方を考える。	・縦と横の長さを同じにすると公倍数を見つけることは同じであることに気づかせる。
			0.001リットルの意味を理解し、その書き方と読み方を知る。	0.01ℓより小さいはしたの表し方を考え、0.01ℓを10等分した1つ分を0.001ℓと表すことを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">10個の目もりをつけられる0.1ℓますの図を用意しておき、既習事項をもとに考えさせる。資料</div>	・既習事項をもとに考えさせる。				最小公倍数を必要とする問題の解決の仕方を理解する。最小公倍数を活用する具体的な場面を考え、公倍数あるいは最小公倍数について理解を深める。	2種類の箱の高さが同じになるときを調べる。6と8の倍数を調べて考える。	・最小公倍数の考え方を、問題解決の場面で活用させる。
			小数の位取りについて理解し小数の相対的な大きさについて	1,0.1,0.01,0.001の関係を調べながら小数の位取りの仕組みをまとめる。	・小数の位も十進位取り記数法で表されることを				倍数の並び方から倍数の規則性などの理解を深める。	100までの数表の中の2や3の倍数にしるしをつける。2と3の数以外の倍数についても調べて	・倍数の並び方の規則性にリズムや美しさを気づ

		理解する。		とらえさせる。				いろいろな倍数の数表を進んで作ることができる。	みる。 100までの数表を用意し、解決の手順を明記しておく。資料	かせる。
小数と整数のしくみ	3.5	小数も整数と同じ数構成であることを理解する。 十進位取り記数法についてまとめる。	1000, 100, 10, 1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べる。 整数や小数の計算に共通することを調べ、0から9までの数字と小数点で、どんな数も表せることを知る。 既習事項をもとに、ブロック図を用いながら十進位取り記数法に気付かせる。資料	・整数と比較しながら小数の仕組みを考えさせる ・十進位取り記数法のよさを感じ取れるようにする。			約数と公約数	3	約数の意味を理解し、求めることができる。 長方形の中に同じ大きさの正方形をしきつめる問題について考える。 約数の意味を知り、求め方を考える。	・実際の場面と対応させて、考えさせるようにする。
		整数は偶数と奇数に類別できることや、偶数と奇数の意味・性質を理解する。	から の整数を仲間分けしてみよう。 0から20までの整数を2つに分ける。 偶数や奇数が日常生活の中のどんなところで使われているか考える。 数字カードを2でわり切れるものと、わり切れないものに分けさせる。資料	・偶数と奇数は、それぞれどういふ数であるのかを説明できるようにさせる。			公約数, 最大公約数の意味を理解する。	から の整数を仲間分けしてみよう。 12の約数と18の約数に共通な数を見つければよいことに気づく。 公約数, 最大公約数の意味を知る。 12と24の公約数の求め方を考える。		
	ある数を10倍, 100倍・・・すると小数点が一桁ずつ右へ移動することを理解する。	ある数の10倍, 100倍・・・などの数を作り, 小数点の位置の変わり方を調べる。	・なぜ小数点移動するのか, その意味を理解させる。			倍数と約数の関係を理解する。 約数が2つしかない数について調べる。	18枚の正方形のカードを長方形に並べる活動を通して, 倍数と約数の関係について考える。 約数が2つしかない数を見つける。	・具体的な操作活動を通して, 倍数と約数の関係を理解させる。		
	ある数の1/10, 1/100・・・の数は小数点が一桁ずつ左へ移動することを理解する。	ある数の1/10, 1/100・・・などの数を作り, 小数点の位置の変わり方を調べる。	・単純に小数点を移動するだけでなく, その意味をとらえさせる。			練習	1	既習学習の理解を深める。 1から50までの数表から, いろいろな倍数や約数を求める。 公倍数・最小公倍数を求める。 公約数・最大公約数を求める。		
練習	0.5	既習事項の理解を深める。	小数第三位までの小数の読み方や表し方を確認する。 数構成についてまとめる。 10倍, 100倍した数や1/10, 1/100の数を求める。	・問題が解決できないときは, 参照ページをもとに振り返るようにながす。						
小算数とひたし算	1	小数第二位までの筆算のしかたを理解する。	走り幅跳びの記録をもとに, 2回の合計や2人の差の求め方を考える。 小数第二位までの加法や減法の筆算のしかたがわかる。	・0.01が何個分になるかを考え, 整数と同じように筆算ができることをとらえさせる。			力だめし	1	既習事項の確かめをする。 公倍数・最小公倍数を求める。 公約数・最大公約数を求める。 公倍数, 公約数を使って問題解決をする。	

力だめし	1	既習事項の確かめをする。	整数と小数の共通点をまとめる。 小数の数構成を確認する。 10倍, 100倍, 1/10, 1/100の数を求める。		倍数の見つけ方 (選択2時間)			
数字カードで考えよう (選択1時間)					2	2の倍数, 4の倍数の見分け方を考えるとともに, その理由を理解する。	いろいろな数について2の倍数であるかどうか, 図などを使って考える。 2の倍数の見分け方を知る。 いろいろな数について, 4の倍数であるかどうか, 図などを使って考える。 4の倍数の見分け方を知る。	・いろいろな数について調べ, 共通点に気づくようにする。 ・一部分を見れば, 何の倍数が見分けることができることよさを感じ取らせたい。
5月上旬	1	数字カードを使って, 小数を作ったり, 小数同士の加法の式を考えたりできる。	0から6までの数と小数点を2個使い, いちばん小さい(大きい)小数を作る。 同様に, 条件に合う小数の加法を作る。	・小数点を使った時の数の大小を確実にとらえさせる。		5の倍数や9の倍数の見分け方を考えるとともに, その理由を理解する。 数のもつ不思議さやおもしろさを感じることができる。	5の倍数の見分け方について考える。 9の倍数の見分け方について考える。 9の倍数の見分け方を図を使って説明する。	・倍数の見分け方を見つけるようにさせる。
ゴールできるのはだれかな? (選択1時間)					最小公倍数と最大公約数のひみつ (選択2時間)			
5月上旬	1	小数の加法・減法の計算の習熟を図る。	小数の筆算をして, 同じ答えを見つけながらゴールを目指す。		2	2数の積と, その2数の最小公倍数と最大公約数の積が等しいことを理解する。	最小公倍数と最大公約数を求める。 表を見て, 気づいたことを発表する。	
エジプト数字で計算しよう (選択1時間)								
5月上旬	1	エジプト数字と十進数を比べ, 十進数のよさを理解する。	エジプト数字の表し方がどうなっているか調べる。 エジプト数字と十進数を比べ, エジプト数字で加法の計算をする。	・エジプト数字と十進数を比べ, 自分たちの使っている数字のよさに気づかせる。				

2 概算 - 動物園へ行こう - (1時間)					2 積や商の見積もり (全1時間)						
評価規準	【関】 加法や減法の概算のしかたがわかり, 概算を用いて問題を解決しようとする。 【考】 生活の中では概算でよい場合があることを知り, 概算で処理することのよさを考えることができる。 【知】 概算のしかたがわかる。					【関】 積や商の見積もりのしかたがわかり, 見積もりを用いて問題を解決しようとする。 【考】 生活の中では見積もりでよい場合があることを知り, 見積もりで処理することのよさを考えることができる。 【知】 積や商の見積もりのしかたがわかる。					
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
5月中旬		1	加減の概算のしかたがわかり, 概算を用いて計算することのよさを説明できる。	概算で処理することのよさを考えさせる問題 動物園の入園者数のおよその数の求め方を考える。 加法・減法の概算のしかたを理解する。 概算を用いて, 問題を解く。	・概数で表す方法がいくつかあったことを想起させる。		積や商の見積もり	1	見積もりの意味を知り, 上から1桁の概数にして積や商を見積もる意味や計算のしかたを知る。 上から1桁の概数にして, 商を見積もる意味や計算のしかたを知る。	概算で処理することのよさを考えさせる問題 上から1桁の概数にした積や商の見積もりの仕方を知る。 電卓を使って計算し, 見積もりと比べる。	・見積もりのよさをとらえさせる。 ・上から1桁の概数にして見積もる考え方をきちんととらえさせる。

小数の位 (1時間)					指導の傾斜	3 分数 (全12時間+選択1時間)					
5		1	1より小さい日本の	1より小さい位にも, 名前があることを	・今でも使われて		【関】 異分母分数の大小を比べたり, 和や差を求めたりしようとする。				

月中旬	数の単位を知る。	知る。 1より小さい単位を使った言葉を調べる。	いる言葉を調べ、 1より小さい単位に関心をもたせる。
	ワークシートを作成し、教科書をもとに調べさせる。(インターネット等も活用させる。)資料		

計算の仕方を考えよう (1時間)			
評価規準	【関】 1.2×3の計算を、既習事項を用いて計算のしかたを考えようとする。 【考】 1.2×3の計算のしかたを、乗法のきまりなどを用いて考えることができる。		
5月中旬	1	1.2×3の計算のしかたを既習事項をもとに、図や式を使って考えることができる。	言葉の式にあてはめて、小数の場合にも乗法が成り立つことを調べる。 1.2×3の計算のしかたを考える。 ・整数の場合と比べながら、小数の乗法のしかたを考えさせる。

3 小数のかけ算 (12時間+選択1時間)			
評価規準	【関】 小数の乗法でも、整数の乗法と同じように計算法則が成り立つことを発見し、それを積極的に活用しようとする。 【考】 整数の乗法で成り立っていた関係やきまりを使って、小数の乗法の意味や計算のしかたを論理的に説明できる。 【表】 小数の乗法を筆算を使って正しく計算することができる。 【知】 小数をかける意味と計算のしかたを理解し、乗法による積と被乗数の大小関係が分かる。		

月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
5月中旬から6月上旬	小数×整数の計算	2	(小数)×(1位数の整数)の筆算のしかたを理解する。	「計算のしかたを考えよう」を手がかりにして、式の意味を考え、2.3×4の計算のしかたを考える。	・数直線をもとに小数の乗法の意味について考えさせる。
			(小数)×(2位数の整数)のしかたを考え、筆算のしかたを理解する	1.2×13の計算のしかたを考え、筆算のしかたと積の小数点のつけかたを知る。	・練習問題をさせ習熟を図る。
	整数×	1.5	(整数)×(小数)の意味を理解し、計算のしかたがわかる。	言葉の式や図から立式し、(整数)×(小数)の計算のしかたを考える。	・数直線を手がかりにして、整数のかけ算に直し

【考】 異分母分数の大小比較の方法や、加法・減法の計算のしかたを考えることができる。
【表】 約分や通分ができる。また、異分母分数の加減の計算ができる。
【知】 約分・通分の意味、異分母分数の大小比較や加法・減法の計算のしかたがわかる。

小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
分数の大小	5	異分母分数の大小の比べ方を考えることができる。 同値分数の分母と分子の間にあるきまりについて考え、同値分数について理解する。	2/4パンと2/3パンと3/4パンの量の比べ方を考える。 いろいろな同値分数を考える。 同値分数の分母と分子の間にあるきまりについて考える。	・分数の分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさが変わらないことを利用して、異分母分数の大小比較の方法を考えさせる。
		正方形の紙を折って、異分母分数の大小を比べる。	正方形の紙を折って、2/3と3/4の大小を比べる。 正方形の紙を使って、いろいろな分数の大小比較をする。	・縦と横に折る方法もあることを考えさせる。
			縦と横に折る方法もあることを考えさせ、いろいろな分数の大小比較をさせる。資料	
		通分の意味を理解する。	3/4と4/5の大きさを比べる方法を考える。 通分の意味を知る。 通分して2/3と4/7の大きさを比べる。	・分母の最小公倍数に注目させる。
		通分のしかたを理解する。	分母の最小公倍数が、分母の積そのままである場合の通分のしかたを考える。 分母の最小公倍数が、大きい方の数と同じ場合の通分の仕方を考える。 分母の最小公倍数が、上の2つと違う場合の通分のしかたを考える。	・通分して大小比較させる。
		約分の意味と約分のしかたを理解する。	24/36を、もっと簡単な分数で表す方法を考える。 約分の意味を知る。	・面積図なども利用して、はじめから形式的な処

小数の計算			て考えさせる。					1回で約分するには、分子と分母の最大公約数で約分すればよいことに気づく。 いろいろな分数を約分する。	理にならないようにする。		
		(整数) × (小数) の筆算のしかたを理解し、一般化ができる。	(整数) × (小数) の筆算のしかたを一般的にまとめる。	・ × (小数) の筆算のしかたを手順を考えながらまとめさせる。			分数のたし算とひき算	4	異分母分数の加法の計算のしかたを考え、理解する。	異分母分数の計算のしかたを思い出す。 異分母分数の加法(1/3 + 1/2)の計算のしかたをもとに考える。 異分母分数の加法は、分母を同じにすれば計算できることを知る。 リットル図等を用いて、2つの異分母分数を同分母にするための方法を考えさせ、単位分数の数で求めさせる。 資料	・ 分数の加法の計算を、既習事項をもとにして考えさせる。
練習	0.5	既習事項の理解を深める。	小数の乗法の計算練習をし、計算のしかたを確かめる。	・ 小数の乗法の習熟を図る。							
小数 × 小数の計算	3	(小数) × (小数) の計算のしかたを考える。	数直線を手がかりにして立式し、(小数) × (小数) の計算のしかたを考え、説明する。	・ 数直線を手がかりにして、整数のかけ算に直して考えさせる。					異分母分数の加法の計算のしかたの理解を深める。 答えが帯分数になる場合の異分母分数の加法の計算のしかたを、理解する。	答えが約分できるときには、約分することを知る。 答えが1より大きくなる場合の異分母分数の加法のしかたを知る。 前時の学習方法をもとに考えさせる。 資料	
		(小数) × (小数) の計算のしかたを理解し、一般化できる。	(小数) × (小数) の計算のしかたを一般的にまとめ、計算や文章問題を解く。	・ × (小数) の筆算のしかたを手順を考えながらまとめさせる。					異分母分数の減法の計算のしかたを考え、理解する。	異分母分数の減法(3/4 - 5/8)の計算のしかたを考える。 異分母分数の減法は、分母を同じにすれば計算できることを知る。 異分母分数の加法の場合と同じ考え方で求めさせる。資料	・ 減法の計算を、加法をもとにして考えさせる。
		乗数による積と被乗数の大小関係及び(純小数) × (純小数) の筆算のしかたを理解する。	1より小さい数をかけると、積は被乗数より小さくなることを知る。 (純小数) × (純小数) の筆算のしかたを知る。	・ 1より小さい数をかけるときの積と被乗数の関係を数直線と結びつけながら考えさせる。					異分母分数の減法の計算のしかたの理解を深める。 異分母分数の(仮分数) - (真分数) の計算のしかたを理解する。	答えが約分できるときは、約分することを知る。 (仮分数) - (真分数) の計算のしかたを考える。	
計算のきまり	2	計算のくふうをしながら、小数でも交換・結合法則が成り立つことを理解する。	(小数) + (小数)、(小数) × (小数) でも交換・結合法則が成り立つことを知る。	・ 小数の場合でも整数と計算の法則が同じであることに気づかせる。			練習	1	既習事項の理解を深める。	異分母分数の大小比較、加法・減法の計算をする。 通分・約分をする。	
		計算のくふうをしながら小数でも分配法則が成り立つことを理解する。	(小数) × (小数) でも分配法則が成り立つことを知る。	・ 図を手がかりに計算のくふうについて考えさせる。				まじ数 つた小 計数 算の	1	分数と小数のまじった計算をする。	分数と小数のまじった計算のしかたを考える。 分数を小数にそろえたり、小数を分数にそろえたりして計算することを知る。

練習	1	既習事項のまとめをする。	小数の乗法の計算のしかたをまとめる。被乗数と積の関係，結合法則・分配法則を確認する。	・小数の乘法についての習熟を図る。		力だめし	1	既習事項の確かめをする。	同値分数を求めたり，約分，通分をする。異分母分数の加減の計算をする。分数の加減の文章題をする。5個の数字から4個選んで，分数の加法の計算をつくる。	
小数のかけ算	1	(小数第二位の小数) × (小数第一位の小数)の筆算のしかたを理解する。	の中に数を入れ，棒の重さを求める式を考える。 2.14 × 3.2の筆算のしかたを考える。	・被乗数が小数第二位でも，同じように計算すればよいことに気づかせる。		暗号を解こう！ (選択1時間)				
						1	異分母分数の加法や減法の計算の習熟を図る。	異分母分数の加法や減法の計算をして，暗号を解く。 同じような暗号を作り，解き合う。		
力だめし	1	既習事項の確かめをする。	小数の乗法の計算や文章題を解く。 くふうして小数の乗法の計算をする。			帯分数のたし算とひき算 (選択1時間)				
						1	帯分数の加法，減法の計算のしかたを理解する。	帯分数の加法の計算のしかたを考える。 帯分数の減法の計算のしかたを考える。 資料		
						4 いろいろな立体 (全9時間+選択1時間)				
						【関】 立体図形の観察や構成などを通して，その特徴や性質をとらえようとする。 【考】 立体図形の構成要素とその関係から，立方体や直方体の特徴や性質を考えることができる。 【表】 直方体・立方体の見取り図・展開図をかくことができる。 【知】 直方体・立方体・角柱・円柱の定義を知り，直方体・立方体の辺や面の垂直・平行の関係がわかる。				
						小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
						直方体と立方体	1	面の形をもとに箱の形を仲間分けすることで，直方体や立方体を類別し，その定義を理解する。 直方体・立方体の構成要素として面・辺・頂点があることを知り，その観点から性質を調べることができる。	身の回りにある箱を面に着目して分類する。 直方体と立方体を知る。 直方体，立方体の面・辺・頂点の数やその関係を調べる。	・直方体・立方体の例として口絵の写真を参考にする。
数字カードで計算しよう (選択1時間)										
6月上旬	1	積が整数になるように，小数第一位の数を考えることができる。 積がいちばん大きく(小さく)なる計算を考える。	6枚のカードを使い，積が整数になる小数の乗法を考える。 同様に，条件に合う小数の乗法を作る。	・問題の条件に合うように，見通しをもって取り組ませる。		展開図	2	直方体の展開図を理解し，かくことができる。	直方体を分解した形を考える。 展開図の意味を知る。 展開図から直方体を考える。 展開図をかき，組み立てる。	・身の回りにある箱を分解したり，展開図から完成した形を考えさせたりする。

正方形の1辺の長さ		(選択 1 時間)			
6月上旬	1	正方形の面積から、図などを用いて1辺の長さを求めることができる。	<p>正方形の面積を求めて、正方形の1辺の長さを考える。 電卓を使って、正方形の1辺の長さを求める。</p> <p>・正方形の面積と1辺の関係に着目させて考えさせる。</p>		
4 垂直と平行 (7 時間 + 選択 1 時間)					
評価規準	【関】	身の回りのものから、垂直・平行な関係にある直線を進んで探そうとする。			
	【考】	三角定規や分度器を用い、2直線の距離や角度から2直線の関係を考えることができる。			
	【表】	垂直・平行の2直線を作図したり、確かめたりできる。			
	【知】	2直線の垂直・平行の関係とその性質がわかる。			
月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
6月上旬から6月中旬	垂 直	2	垂直の意味を理解し、垂直な関係にある2直線を調べることができる。	<p>立方体を提示し、面の形と辺の交わりに着目させる。</p> <p>2直線の交わる角度を分度器で調べ、交わり方から垂直にある2直線を探し、垂直の意味を知る。</p>	・角のとらえ方から、2直線の関係に目を向けさせるようにする。
			垂直な直線のかき方を理解する。	<p>立方体や直方体を提示し、面の形や辺の交わりに着目させる。</p> <p>三角定規や分度器を使って、垂直な直線のかき方を考える。</p>	・分度器や三角定規の正しい用い方を確認する。
	平 行	3	平行の意味を理解し、平行な直線の弁別ができる。	<p>立方体を提示し、その面の辺の位置関係に着目させる。</p> <p>クラスの旗を作るのに、直線の向きや間隔を調べ、平行の関係にある部分を探し、平行の意味を知る。</p>	・2直線の向きを調べる活動を通して、平行線の特徴を考えさせる。
			平行な直線の性質を理解する。	<p>立方体や立方体を提示し、その辺の位置関係に着目させる。</p> <p>平行な2直線と他の1直線が交わってで</p>	

面や辺の垂直と平行

3

立方体の展開図から完成図を予想したり、構成要素の関係を考えたりして、立方体の展開図をかくことができる。

立方体を提示し、面と面のつながりに着目させる。

正方形を組み合わせて立方体をつくる。いろいろな立方体の展開図を考える。展開図をかくて立方体を作る。

できるだけ多くの正方形を用意し、6枚の正方形をつなげさせながら考えさせる。
デジタルコンテンツの活用
資料

・面と面のつながりを考えながら、いろいろな展開図をかかせる。

直方体と立方体の面と面の垂直・平行関係を理解する。直方体と立方体の辺と辺の垂直・平行関係を理解する。

立方体や直方体を提示し、面と面の関係、辺と辺の関係に着目させる。

面と面の垂直関係を調べる。
面と面の平行関係を調べる。
直方体の見取図を見ながら、1つの辺に垂直な辺、平行な辺を調べる。
立方体についても垂直な辺、平行な辺について調べる。

・確かめ方を工夫しながら、面と面の関係、辺と辺の関係を考えさせる。

直方体の面と辺の垂直関係を理解する。

立方体を提示し、面と辺の位置関係に着目させる。

机の面と鉛筆の垂直関係を調べる。
直方体の面と辺の関係を理解する。
教室の中で床に垂直な辺にあたる部分を探す。

前時の学習をもとに、確かめ方を工夫させながら、面と辺の関係を考えさせる。

・確かめ方を工夫しながら、面と辺の関係を考えさせる。

直方体と立方体の見取図を理解し、かき方がわかる。

立方体や立方体を提示し、その全体の形に着目させる。

直方体の全体のようなすがわかる図を工夫

・直方体全体が一目で分かるのは、右側であることをおさえる。

			きる角や2直線間の距離など，平行な直線の性質を調べる。						してかく。 見取図の意味とかき方を知る。 直方体の大きさは，縦・横・高さの3つの辺の長さで決まることを理解する。 立方体の見取図について理解する。		
			平行な直線のかき方を理解する。	三角定規や定規を使って，平行な直線のかき方を考える。	・平行線の性質と作図方法をつなげて考えさせる。		角柱と円柱	1	角柱や円柱について，定義や名称，構成要素を理解する。	角柱の底面や側面の形・大きさを調べ，角柱の構成要素を知る。 角柱の頂点，辺，面の数を調べる。 円柱の構成要素を知る。	・頂点，辺，面の数を表にまとめ，そこから関係をとらえさせる。
練習	1	既習事項の理解を深める。	垂直な2直線の弁別，垂直な2直線の作図をする。 平行な2直線の弁別，平行な2直線の作図をする。	・問題が解決できないときは，振り返って考えるように促す。			練習	1	既習事項の理解を深める。	直方体，立方体の構成要素を確かめる。 直方体の展開図をかく。 直方体や立方体の面の関係を考える。 三角柱の構成要素を確かめる。	・問題終了後は，発展問題を解かせたり，自分たちで問題を作成させたりして習熟を図る。
力だめし	1	既習事項のまとめをする。	垂直や平行な2直線の弁別，作図をする。 平行な直線の性質から角度を求める。	・三角定規や分度器を正しく使って作図させる。			力だめし	1	既習事項の確かめをする。	直方体の構成要素を確かめる。 立方体，直方体の展開図をかく。 立方体の展開図を考える。	
めい路作り (選択1時間)					近道はどこかな? (選択1時間)						
6月中旬	1	垂直な直線や平行な直線を使って，迷路を作ることができる。	垂直な直線や平行な直線を使って，迷路を作る。	・分度器や三角定規などを使って，正確にかかせる。				1	直方体の面と面のつながりを考えながら，問題を解決する。	直方体の見取図を見て，頂点から頂点までの最短距離を予想する。 展開図をかいて確かめる。	・直方体の面と面のつながりを考えながら，頂点から頂点までの最短距離を考える。
立方体を作ったり つめたりしてみよう (選択1時間)											
	1							1	3つの数の最小公倍数や最大公約数について考えることができる。	同じ大きさの直方体を並べて，立方体を作る問題を考える。 直方体の中に同じ大きさの立方体をすきまなくつめる問題を考える。	・既習事項を活用して最小公倍数や最大公約数について考える。

5 いろいろな四角形 (12時間+選択1時間)					5 体積 (全12時間+選択1時間)						
評価規準	【関】 図形の定義や性質をもとに，進んで調べたり作図したりしようとする。 【考】 辺の位置関係や長さを調べる活動を通して，それぞれの図形の性質やそれを生かした作図方法を考えることができる。 【表】 台形，平行四辺形，ひし形の作図ができる。 【知】 台形，平行四辺形，ひし形の定義や性質がわかる。また，対角線に着目して，四角形の性質がわかる。				【関】 身の回りにあるものの体積に関心を持ち，それらの体積を調べたり，比べたりしようとする。 【考】 直方体や立方体の求積公式を考えることができる。また，複合図形の体積の求め方を考えることができる。 【表】 直方体や立方体の求積公式を用いて，体積を求めることができる。 【知】 体積の単位や，直方体や立方体の求積公式の意味がわかる。						
月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
6	導	1	ドット図を利用して	たくさんの四角形を作ろうという意欲を	・4本の直線で作		体	2	水ようかんのかたま	水ようかんの大きさの比べ方を考える。	

月 下 旬 か ら 7 月 上 旬	入	四角形を作り平行な辺の組数に着目して仲間分けすることができる。	もって四角形を作り，平行な辺の組数に着目して仲間分けをする。	図することを確認する。		積	りの大きさ比べを通して，立体図形の大小比較を考える。	直方体と立方体の水ようかんの大小比較をさまざまな方法でする。			
	台形	1	台形の定義を知り，台形のかき方を知る。	平行な辺を1組持つ四角形について考え，平行線を用いて台形を作図する。	・身の回りに台形の形がないか考えさせる。			既習事項を想起させ，実験や操作等を通して考えさせる。 資料			
	平行四辺形	3	平行四辺形の定義を知る。	さまざまな角柱を提示し，面の形に着目させる。 仲間分けした四角形で平行な辺を2組もつ四角形について考え，身の回りから探す。	・台形の定義をもとにして考えさせる。		体積の公式	3	1辺が1cmの立方体の積み木を使った形作りを通して，体積の意味を理解する。 cm ³ の単位を理解する。	さまざまな角柱を提示し，大きさ比べをさせてから，立方体に着目させる。 1辺が1cmの立方体の積み木を使って，いろいろな形を作る活動を通して，単位の必要性と体積の意味を理解する。	・単位のよさに気づかせる。
			平行四辺形の定義を使って作図をし，平行四辺形の性質を理解する。	方眼を用いたり三角定規を用いたりして平行四辺形を作図し，向かい合った辺の長さや角の大きさを調べる。	・平行線の作図方法を利用して平行四辺形を作図させる。			立方体の求積公式を理解する。	直方体の求積方法の理解を深める。 立方体の求積公式を考える。 直方体や立方体の体積を求める。 身の回りにあるものの体積を求める。	・直方体や立方体の求積公式を用いて，体積を求めるさせる。	
			平行四辺形の定義や性質を使ったかき方を理解する。	与えられた2辺とその間の角を用いて，平行四辺形のかき方を考える。	・コンパスなどの正しい使い方を確認する。			体積が200cm ³ の箱作りを通して体積の公式の理解を深める。 同じ容積の箱にも様々なものがあることがわかる。	縦，横，高さを考えて様々な箱を作る。 縦，横，高さを考えてさまざまな箱を作らせる。資料		
	ひし形	2	ひし形の定義を知り，辺や角の関係を考える。	コンパスを用いてひし形をかき，辺の長さや角の大きさを調べる。	・ひし形の特徴を作図方法とつなげて考えられるようにする。		大きな体積とかさ	4	m ² の単位を理解する。 1m ² と1cm ² の単位関係を理解する。	大きな体積を表す単位m ³ を知る。 1m ³ は何cm ³ かを考える。	・1cm ³ の半具体物を使って，1m ³ の大きさを感じ取らせる。
			ひし形の性質やかき方を理解する。	ひし形の向かい合った辺や角の大きさを調べたり，平行四辺形の作図のしかたをもとに，ひし形のかき方を考えたりする。	・コンパスや分度器の正しい使い方を確認する。				辺の長さがmとcmで表されている直方体の求め方を理解する。 1m ³ の量感をとらえる。	mとcmで表されている直方体の体積を単位をそろえて求める。 体積の単位を変える。 1m ³ の中に何人入れるか体感し，1m ³ の量感をもつ。	・実際に1m ³ の大きさをつくり，量感をつかませる。
	四角形の対角線	2	対角線の定義を知る。	四角形を2つの三角形に分ける対角線を引く。 対角線の交わり方を調べ，その結果と四角形の性質を比較する。	・四角形を折ったり対角線を測ったりする活動とつなげて考えさせる。				cm ³ ，m ³ ，ml，lの単位関係を理解する。	水のかさと体積の関係を調べる。 cm ³ ，m ³ ，ml，lの単位関係を理解する。	・具体的なものを示して，単位関係をつかませる。
			いろいろな四角形の対角線の特徴を理解する。	平行四辺形，ひし形，長方形，正方形の対角線を調べる。	・対角線の特徴から図形の性質を見直させる。		直方体を組み合わせた形の体積の求め方を理解する。	直方体を組み合わせた形の体積の求め方を考える。	・具体物や半具体物を使って，考えさせる。		
	しもきよ	1	四角形のしきつめを通して四角形の性質	合同な四角形をしきつめて，もようを作る。	・それぞれの四角形の特徴を生か		練習	1	既習事項の理解を深める。	直方体や立方体の体積を求める。 体積の単位の相互関係を確認する。	

つめ		を理解する。		してもよを作らせる。					直方体を組み合わせた形の体積を求める。	
練習	1	既習事項の理解を深める。	台形，平行四辺形，ひし形の定義や性質をまとめる。 平行四辺形やひし形の作図をする。			角柱の体積	1	角柱の求積方法を理解する。	直方体を四角柱と見て，直方体の求積公式から角柱の求積公式を考える。 三角柱の体積の求め方を考える。 直方体を組み合わせた形の体積を，角柱の求積公式を使って求める。	・角柱の体積を，直方体の求積公式から考える。
力だめし	1	既習事項の確かめをする。	四角形を名前や性質で分類する。 平行四辺形を作図する。 対角線から四角形を見分ける。	・問題が解決できないときは，振り返って考えるように促す。		力だめし	1	既習事項の確かめをする。	直方体や立方体の体積を求める。 複合図形の体積を求める。 直方体の展開図から，体積を求める。 体積の単位の相互関係を確認する。	
どんな四角形ができるかな (選択1時間)					いろいろな体積 (選択1時間)					
7月上旬	1	四角形の対角線についての理解を深める。	円を利用した四角形について，対角線の性質から判断する。	・対角線の理解が不十分な場合には前の学習を想起させるようにする。			1	不定形なものの体積の求め方を理解する。	石の体積を，水の体積に置き換えて求める。 自分の体積を調べてみる。	
形も大きさも同じ四角形がかけられるかな？ (選択1時間)					1000cmの箱の形を見つけよう (選択1時間)					
7月上旬	1	形も大きさも同じ四角形のかき方がわかる。	4つの辺の長さを測って，四角形をかく。 辺の長さや角の大きさを測って，四角形をかく。	・すべての辺や角を調べなくてもよいことに気づかせる。			1	身の回りにあるものの体積に関心を持ち，いろいろなものの体積を求めることができる。	教科書にある箱の形の体積を求める。 身の回りから，1000cmに近い形の箱を見つけてまとめる。	・およその体積を予想しながら，体積を求めるようにさせる。
					いちばん大きなかさの箱を作ってみよう (選択1時間)					
	1						1	一定の大きさの方眼紙から直方体の箱を作り，かさが最大になるときの深さを調べる。	1辺が12cmの正方形の方眼紙の4すみを切り取って，直方体の箱を作り，そのかさを調べる。 かさの変わり方を表やグラフにまとめ，かさが最大のとときの高さを求める。	・電卓を活用させる。

復習1 (2時間)				指導の傾斜	復習1 (2時間)			
7月中旬	2	1学期の復習をする。	小数について，相対的な大きさの問題を解く。 小数の乗法の計算や問題を解く。 偶数・奇数の見分け方を考える。		2	1学期の復習をする。	公倍数・最小公倍数，公約数・最大公約数を求める問題を解く。 公倍数を用いた問題を解く。 約分・通分をする。 異分母分数の加減の計算をする。	・巻末にある解答と，問題の後にある関連単元番号を活用して，自己学習をさせるようにする。
		1学期の復習をする。	垂直・平行の性質をもとに，問題を解く。 四角形の構成要素や性質を確認する。 平行四辺形・ひし形の作図をする。		1学期の復習をする。	直方体の面と面の関係・辺と辺の関係の問題を解く。 直方体の展開図をかく。 直方体や立方体，直方体を組み合わせた形の体積を求める。		

計算のしかたを考えよう (1時間)					6 単位量当たりの大きさ (全17時間+選択1時間)						
評価規準	<p>【関】 5.4÷3の計算を既習事項を用いて、計算のしかたを考えようとする。</p> <p>【考】 5.4÷3の計算のしかたを0.1を単位としたり、除法のきまりを使ったりして、いろいろ考えることができる。</p>					評価規準	<p>【関】 日常の事象を考察するときに平均の考えや、単位量当たりの考えを用いようとする。</p> <p>【考】 日常の事象を数理的にとらえるために、平均の考えや、単位量当たりの考えで考えることができる。</p> <p>【表】 平均や単位量あたりの大きさを求めることができる。また、単位量当たりの考えをもとに、速さを求めることができる。</p> <p>【知】 平均の意味や使い方、単位量当たりの大きさの意味、速さの表し方がわかる。</p>				
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
9月上旬		1	5.4÷3の計算のしかたを既習事項をもとに、図や式を使って考えることができる。	言葉の式にあてはめて、小数の場合にも除法が成り立つことを調べる。5.4÷3の計算のしかたを考える。	・整数の場合と比べながら、小数の乗法のしかたを考えさせる。		平均	3	操作を通して「ならず」という意味を理解する。	どちらがよく本を読んだかを考える。棒グラフの高さをならず操作を通して、「ならず」という意味を理解する。	・操作活動を通して、現象を体験させる。
6 小数のわり算 (15時間+選択1時間)											
評価規準	<p>【関】 整数の除法と同じように考えて、小数の除法の計算のしかたを考えようとする。</p> <p>【考】 整数の除法で成り立っていた関係やきまりを使って、小数の除法の意味や計算のしかたを論理的に説明できる。</p> <p>【表】 小数の除法を筆算を使って正しく計算することができる。</p> <p>【知】 小数でわる意味と計算のしかた、あまりのあるときの処理のしかた、商を概数で求めるしかたがわかる。</p>					評価規準					
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
9月上旬から10月上旬	小数÷整数の計算	3	(小数)÷(整数)の意味と計算のしかたを理解する。 (小数)÷(整数)の筆算のしかたを理解する。 (小数)÷(整数2位数)の計算のしかたを考え、筆算のしかたを理解する。	5.7÷3の意味を数直線を手がかりに理解し、計算のしかたを考え、筆算のしかたを理解する。 38.4÷12の計算のしかたを考える。 (小数)÷(整数)の計算も、整数の計算と同じように計算できることを知る。	・答えの見当をつけて考えさせる。 ・商がどの位からたつのかを考えさせる。		平均	6	ならずということを計算で求める方法を考え、「平均」という用語と意味を理解する。	ジュースの量をならずことを計算で求めるしかたを考える。平均という用語を知り、計算での求め方を理解する。	・計算したことと、前時の操作を結びつけて考えさせていく。
			わり進める場合の計算のしかたを考え、筆算の方法を理解する。	商がわり切れない場合でも、小さい単位で考えると除法が続けられることを知る。	・0.1は0.01が何個分なのかを考えさせる。	生活場面の中で、平均の考えを使うことができる。			実際にならずできない場合でも、計算で平均が求められることを理解する。実際には小数で表されないものでも、平均では小数で表すことを理解する。「平」や「均」の漢字の意味について、考える。	・本の冊数や得点などを平均し、数の上でとらえさせる。	
			除数が被除数より大きい場合の筆算のし	一の位に0が立つ除法の場合でも、0.1や0.01を単位として考えると計算できるこ	・概算でおよその商を考え、商の				「こみぐあい」を比べるには、広さと人	マットに乗っている子どものこみぐあいをどのようにして比べるかを考える。	・どれがこみ合っているかのわけ

実際にならずできない場合でも計算で平均が求められることを理解させ、前時の解決方法をもとに考えさせる。
資料

		かたを考え、一の位に0が立つ除法のしかたを理解する。	とを知る。	立つ位を見積もらせる。		単 位 量 当 た り の 大 き さ	数の2量が関係して いて、一方の量をそ ろえればもう一方の 量で比べられること に気づく。	マット1枚あたりに、何人乗っているか を調べる。	を考えるように させる。 ・実際に体験させ るとよい。	
整 数 ÷ 小 数 の 計 算	3	小数でわる意味を理 解し、立式できる。	1 m ² あたりの人数を求める(整数)÷ (小数)の問題	・文字の式や数直 線をもとに考え させる。			単位量あたりの大き さで比べることのよ さを理解できる。	1 m ² あたりの人数を求める(整数)÷ (小数)の問題 資料	・いろいろな事象 の平均のこみぐあ いについて考え る。	
		(整数)÷(小数) の答えの求め方を理 解する。	(整数)÷(小数)の答えの求め方につ いていろいろな方法で考える。	・除法のきまりを 使って考えさせ る。			人口密度の意味を知 り、求めることがで きる。	人口密度について知り比べる。 都道府県の人口密度を求める。	・口絵を使ってこ みぐあいのイメ ージを作らせる ようにする。	
		(整数)÷(小数) の筆算のしかたを理 解する。	1 当たりの量を求める(整数)÷(小 数)の問題	・小数点の位置に 気をつけさせる。			単位量あたりの大き さという言葉を知り、 いろいろな単位当 たりの量の大きさを求 めることができる。	1 当たりの量を求める(整数)÷(小 数)の問題 資料	・単位量あたりの 大きさは、1 当 たりの量だとい うことに気づか せる。	
小 数 ÷ 小 数 の 計 算	4	(小数)÷(小数) の計算のしかたを理 解する。	(小数)÷(小数)の計算のしかたを除 法のきまりを使って考える。	・図を見ながら、 商の見当をつけ させる。			単位量あたりの大き さを使って、全体 の大きさを求めるこ とができる。	単位量あたりの大きさを 使って、全体の 大きさを求める。	・単位量あたりの 大きさをしっか りとおさえる。	
		(小数)÷(小数) の筆算のしかたを理 解する。	小数の除法の筆算のしかたをまとめる。	・÷(小数)の筆 算のしかたを、 手順を考えなが らまとめさせる。			単位量あたりの考え を使って仕事の速さ について理解する。	仕事の速さも、単位量あたりの大き さで表されることを知る。		
		(小数)÷(小数) の筆算の一般化がで きる。	0を補い、わり進める計算のしかたや、 一の位に0が立つ場合の計算のしかたを 考える。	・小数点の位置に 気をつけさせる。			3 速	6	速さの比べ方を考え ることができる。	ソーラーカーの速さについて考える。 実際にソーラーカーを使って測定する。 速さは何と何に関係しているのか考える。
	除数による、商と被 除数の関係を理解す る。	1より小さい数でわると、商は被除数よ り大きくなることと、1より小さい数で わる除法のしかたを知る。	・具体的な場面や 図を用いて考え させる。			さ		単位量あたりの考え を用いて速さを比べ るよさに気づく。 (速さ)=(道のり) ÷(時間)で表され ることを理解する。	速さの比べ方について知る。 (1)同じ時間に進む道のりで比べる。 (2)同じ道のりを進むのにかかる時間で比 べる。 速さの求め方を知る。	・時間をそろえる 場合と道のりを そろえる場合と では、どちらが 比べやすいか考 えさせる。
い ろ い	2	あまりのある場合の、 あまりの意味、計算 のしかた、答えの確	÷(小数)の計算で、あまりのある場合 について、あまりの意味を考え、小数点 のつけ方を知る。	・図を見ながら、 あまりについて 考えさせる。			速さには、時速、分 速、秒速があること を理解する。	時速と分速、秒速の関係について知り、 公式を適用して、速さを比べる。	・速さは1時間・ 1分・1秒当 たりに進む道のり	

る な わ り 算		かめ方を理解する。							で表されることを理解させ、答えの表し方も理解させる。
		商を四捨五入して概数で求める意味や方法を理解する。	商を適当な位置で四捨五入して、概数で求める意味や方法を知る。	・概数で商を求めることよさに気づかせる。			時速、分速、秒速の関係をとらえる。	時速と分速、秒速の関係について理解する。 同じ速さのものを、時速や分速や秒速で表す。	・時速と分速、秒速の相互関係を理解させる。
	練 習	1 既習事項の理解を深める。	いろいろな小数の除法の計算をする。 文章題を解く。	・問題が解決できないときは、振り返って考えるように促す。			自分の歩く速さを秒速、分速、時速で求めることができる。	50mを何秒で歩くのかを実際に調べてみる。 秒速、分速、時速で求める。	・実際に測定して、時速、分速、秒速を求める。
	小 数 の わ り 算	1 小数第二位までの小数同士の除法の筆算のしかたを考えることができる。	9m45cmのリボンを2m10cmずつ切るとき、何人に分けられて何mあまるかを考える。 小数第二位までの小数同士の筆算のしかたを考える。	・小数第二位までの小数同士の除法も、同じように計算すればよいことに気づかせる。			速さと時間がわかっている場合の、道のりの求め方を理解する。 速さと道のりがわかっている場合の、時間の求め方を理解する。	時間が2倍、3倍になったとき、道のりの変わり方を調べ、道のりの求めかたを考える。 速さと道のりがわかっている場合の時間の求め方を、道のりを求める式から考える。	・(道のり) = (速さ) × (時間)、の式をもとにして、時間を求める式を考えさせる。また速さを求める式についても考えさせる。
力 だ め し	1 既習事項の確かめをする。	小数の除法の筆算のしかたを確認する。 文章題を解く。 除数、商、あまりの関係を考える。	・除数、商、あまりの関係がきちんと押さえられるようにする。		練 習	1 既習事項の理解を深める。	平均やこみぐあいを求める。 単位量当たりの大きさを求める。 速さや道のりを求める問題をする。		
かぎの番号は				(選択1時間)					
10 月 上 旬	1	(整数) × (小数), (整数) ÷ (小数)の計算の習熟を図る。	小数の乗法、除法の計算をして、答えが正しいものに色を塗る。 かぎの番号を見つける。	・早く終わった児童には、同じような問題を作らせてもよい。		力 だ め し	1 既習事項の確かめをする。	人口密度を求める。 速さ・道のり・時間を求める。 平均の考えを使った問題を解く。	
何がかくれているかな?				(選択1時間)					
10 月 上 旬	1	(小数) × (小数), (小数) ÷ (小数)の計算の習熟を図る。	小数の乗法、除法の計算をして、答えと同じところに色を塗り、文字を見つける。	・早く終わった児童には、同じような問題を作らせてもよい。					

9	分数	(13時間 + 選択1時間)		7	分数のかけ算とわり算(1)	(8時間 + 選択1時間)
評 価 規	【関】 分数のしくみや同分母分数の加減の方法に関心をもつ。また、分数を用いると整数の除法の結果が1つの数で表せることがわかり、それを分数・小数・整数の相互関係の理解に生かそうとする。 【考】 単位分数をもとにして、同分母分数の加減法の計算のしかたを考えることができる。また、整数の除法の結果を分数で表す方法や、分数・小数・整数の相互関係について考えることができる。 【表】 1つの分数を、分母を変えていろいろな表し方ができる。分数を小数や整数で表したり、			【関】 (分数) × (整数), (分数) ÷ (整数)の計算のしかたを、既習事項をもとに考えたり、問題解決に活用しようとする。 【考】 (分数) × (整数), (分数) ÷ (整数)の計算のしかたを、既習事項をもとに考えたり、言葉の式や図と関連させて考えることができる。 【表】 (分数) × (整数), (分数) ÷ (整数)の計算ができる。 【知】 (分数) × (整数), (分数) ÷ (整数)の計算の意味と計算のしかたがわかる。		

準		【知】 小数や整数を分数で表すことができる。また、整数・小数・分数を同じ数直線に表したり、大小を比べることができる。同分母分数の加減法の計算のしかたがわかる。また、整数の除法の結果が分数で表せることと、分数・小数・整数の相互関係がわかる。									
月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
10月中旬から10月下旬	大きな等しい分数	2	1/2は、2/4,3/6,4/8などいろいろな分数で表せることを理解する。他の単位分数もいろいろな分数で表すことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな分数を提示し、単位分数のいくつ分かを考えさせる。</div> <p>いろいろな目盛りのある1ℓますに色水を1/2ℓ入れ分数で表す。1/2と等しい大きさの分数を見つける。1/2と同じようにして、1/3と等しい大きさの分数を見つける。</p>	・分母が変わると分子も変わること気づかせる。		分数×整数の計算	3	<p>(分数)×(整数)の意味と計算のしかたを考える。 (分数)×(整数)の意味と計算のしかたを理解する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな分数を提示し、単位分数のいくつ分かを考えさせる。</div> <p>今までに習った計算を振り返り、分数の乗除の計算が未習であることに気づく。ペンキで塗ることのできる面積を図で表す。 (分数)×(整数)の式を立て、計算のしかたを考える。 (分数)×(整数)の計算のしかたを一般化した式にまとめる。</p>	・単位分数のいくつ分という考え方に重点をおく。
				<p>数直線を手がかりに、単位分数の大きさの関係を理解する。数直線を利用して大きさの等しい分数を見つけることができる。</p>	<p>数直線を手がかりに、単位分数の大きさの関係を考える。単位分数では、分母が大きくなるほど分数の大きさは小さくなることを知る。数直線を手がかりに、大きさの等しい分数を探す。分母の異なる分数で、大きさの等しい分数があることを知る。</p>					・形式的に扱うのではなく、数直線などを使って、実際に調べたりすることができるようにする。	<p>(分数)×(整数)の計算で、計算の途中での約分のしかたを理解する。</p>
	分数のたし算とひき算	3	<p>分数の加法を適用する場面がわかり、同分母分数の加法の計算のしかたを理解する。和が仮分数になった場合の処理のしかたを理解する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コーヒーとミルクを合わせる場面に関する問題</div> <p>1ℓに満たないコーヒーとミルクを合わせる場面で、同分母分数の加法のしかたを考える。同分母の真分数どうしをたして、答えが1以上になる場面について考える。同分母の加法は、分母はそのままにして分子どうしをたせばよいことを知る。</p>	<p>・図や数直線を用いて、視覚的にもとらえられるようにする。 ・形式的に計算のしかたを覚えさせるのではなく、単位分数の個数をたせばよいことに気づかせたい。</p>		分数÷整数の計算	3	<p>(仮分数)×(整数)の計算のしかたを考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コーヒーとミルクを合わせる場面に関する問題(仮分数×整数)</div> <p>加法を積の式に表す。答えの見当をつける。 (仮分数)×(整数)の計算のしかたを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #FFFF00;">(仮分数)×(整数)でも、これまでと同じように計算できることを理解させ、帯分数に直して答えるようにさせる。</div>	
<p>同分母分数の加法で、答えが整数になる場合があることに気づく。同分母の真分数どうしの加法の計算ができる。</p>	<p>同分母の真分数をたして、答えが整数(1)になる計算について考える。1から9までの数字を使って、2つの真分数(同分母)を作り、その和を求める。同分母分数の加法の計算を練習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; background-color: #FFFF00;">リットル図を用いながら、単位分数の個数で考えさせる。資料</div>	・異分母分数の加法については取り扱わない。	<p>(分数)÷(整数)の意味と計算のしかたを理解する。</p>	<p>(分数)÷(整数)の立式をする。1dlのペンキで塗れる面積を、図を使って考える。 (分数)÷(整数)の計算のしかたを考える。</p>	・求める場面を図に表し、計算の意味を考えさせる。						
			分数の減法を適用す						(分数)÷(整数)		・分子はそのまま

		<p>る場面がわかり，同分母分数の減法の計算のしかたを理解する。</p> <p> / のジュースに関する問題を作らせ，同分母同士の減法へつなげる。</p> <p>同分母分数の減法で，仮分数から真分数をひいたり，1から真分数をひく場面について考える。 同分母分数の減法の計算を練習する。</p> <p>加法と同じように考えさせる。 資料</p>					<p>の計算のしかたを理解する。</p> <p> / のジュースに関する問題を作らせ，分数÷整数の問題を取り上げる。</p> <p>ジュースを5等分する場面で，(分数)÷(整数)の計算のしかたを考える。 (分数)÷(整数)の計算のしかたを一般化した式にまとめる。</p>	<p>にして，分母にその整数をかけて計算すればよいわけをしっかりとつかませる。</p>
分数と小数・整数	5	<p>2ℓの牛乳を3人で分けたときの1人分の量の表し方を考えることができる。</p> <p>2ℓの牛乳を1～5人で等分したときの1人分の量を整数や小数で表す。 2ℓの牛乳を3等分した1つ分の量を分数で表す表し方を考える。</p>	<p>・分数で表すことのよさについて考えさせる。</p>				<p>(分数)÷(整数)の計算で，途中での約分のしかたを理解する。</p> <p>途中で約分する計算のしかたを知り，最後に，約分する場合と比較する。 計算の途中で約分するしかたを知る。</p>	<p>・(分数)÷(整数)の計算で，その途中での約分のよさをとらえさせる。</p>
		<p>3mのひもを4等分したときの1本分の長さを分数で表すことを通して，整数の除法の結果が常に分数で表されることを理解する。</p> <p>3mのひもを4等分したときの1本分の長さを分数で表す。 整数の除法の結果は，分数で表すことができることを知る。</p>	<p>・$a \div b = a/b$になることをとらえさせる。</p>		練習	1	<p>既習事項の理解を深める。</p> <p>(分数)×(整数)，(分数)×(整数)の計算のしかたをまとめる。 適用する問題を解く。 計算の練習をする。</p>	<p>・問題終了後は，発展問題を解かせたり，自分たちで問題を作成させたりして，習熟を図る。</p>
		<p>$a/b = a \div b$であることを活用して，分数を小数や整数に直すことができる。</p> <p>2mのテープを5等分したときの，1本分の長さを分数と小数で表す。 $3/5\ell$と0.7ℓの大小比較をする。 分数を小数と整数で表す。</p>	<p>・$b = a/b$を逆に活用させる。</p>		力だめし	1	<p>既習事項の確かめをする。</p> <p>計算が正しいかどうかを判断する。 計算の練習をする。 適用する問題を解く。 式から問題場面を考える。</p>	<p>・適用問題(速さの計算)では，速さと時間と道のりの関係について，既習事項を想起し確認する。</p>
		<p>整数や小数を分数で表すことができる。</p> <p>2，5を分数で表す。 0.19，1.7を分数で表す。 同じ数直線に，小数と分数を表す。</p>	<p>・$1/10=0.1$，$1/100=0.01$であることの理解を深める。</p>			<p>時間と分数 (選択1時間)</p>		
						1	<p>分数を用いて，時間の単位の換算ができる。</p> <p>分数を用いて，時間，分，秒を表す。 分数を用いて，時間，分，秒の単位の換算をする。</p>	<p>・時間の図を提示して，分数と対応させる。</p>
						<p>見つけられるな パート1 (選択1時間)</p>		
						1	<p>既習事項をもとに，条件にあった(分数)×整数)，(分数)÷(整数)の式を考えることができる。</p> <p>答えが1になる，(真分数)×(整数)の式を考える。 答えが$1/6$になる，(真分数)÷(整数)の式を考える。</p>	<p>・試行錯誤するだけではなく，与えられた積を作るためのくふうについて話し合う場を設定し，そのくふうを他の積にも適用させる。</p>

		分数は3つの仲間に分類できることがわかる。数直線を用いて、分数も整数や小数と同じ数の仲間であることの認識を深めたり、大小を比べたりできる。	分数を整数や小数に直したときのちがいによって、3つの仲間に分類する。整数・小数・分数を同じ数直線に表す。分数は、小数に直すと大きさの見当がつけやすくなることを知る。	・分数も整数や小数と同じ数の仲間であることに気づかせる。
練習	1	既習事項の理解を深める。	分数の大小比較をする。 同分母分数の加法、減法をする。 整数の除法の商を分数で表す。 分数を小数や整数、小数を分数で表す。 分数、小数、整数を数直線に表す。	・問題が解決できないときは、振り返って考えるように促す。
帯算で数きもる計かな	1	同分母の帯分数と真分数の和や差を考慮することができる。	朝と夕に飲んだ牛乳の量の合計を求める問題で、帯分数と真分数の加法の計算のしかたを考える。 朝と夕に飲んだ牛乳の量の差を求める問題で、帯分数と真分数の減法の計算のしかたを考える。	・図が筆算のような形で表現されていることに留意したい。
力だめし	1	既習事項の確かめをする。	除法の結果を分数で表す。 分数を小数や整数、小数を分数で表す。 同分母分数の加法、減法をする。 4枚のカードから2枚選んで分数を作り、仲間分けする。	
3 + 4 でできるかな			(選択1時間)	
11月上旬	1	決まった大きさの数を単位として、計算のしかたについて考えることができる。	分数の加法では、単位分数を単位とすると、整数の加法と同じように考えることができることを復習する。それぞれの計算は、何を単位として計算しているのかを考える。 他に、3 + 4 と考えられる計算を探す。 資料	・ある数を単位として、計算について考えさせる。
暗号を読んでみよう			(選択1時間)	

8 分数のかけ算とわり算(2)		(13時間+選択1時間)		
評価規準		【関】 (分数) × (分数), (分数) ÷ (分数) の計算のしかたを、既習事項をもとに考えたり、問題解決に活用しようとする。 【考】 (分数) × (分数), (分数) ÷ (分数) の計算のしかたを、既習事項をもとに考えたり、言葉の式や図と関連させて考えることができる。 【表】 (分数) × (分数), (分数) ÷ (分数) の計算ができる。 【知】 (分数) × (分数), (分数) ÷ (分数) の計算の意味と計算のしかたがわかる。		
分数 × 分数の計算	3.5	分数をかける意味と立式のしかたを理解する。 (分数) × (分数) の計算のしかたを理解する。 × (仮分数) の計算の意味を理解する。	ペンキを塗ることのできる面積を求める式を立て、面積を図で調べる。 (分数) × (分数) の計算のしかたを図をもとにして考える。 (分数) × (分数) の計算のしかたを一般化してまとめる。	・(分数) × (整数) の計算を想起させる。 ・仮分数をかける計算も、計算の仕方は同じであることを図等で説明させる。
		(分数) × (分数) の計算で、計算の途中での約分のしかたを理解する。	計算の途中で約分できる式を使って、解く文章題を考える。	・(分数) × (分数) の計算で、計算の途中での約分のよさをとらえさせる。
		(整数) × (分数), (分数) × (整数) の計算と、(分数) × (分数) の計算の関係を理解する。 数値が分数の場合にも面積公式が適用できることを理解する。	(整数) × (分数), (分数) × (整数) の計算も、整数を分数の形に直すと、(分数) × (分数) の計算になることを知る。 底辺と高さが分数で表されている平行四辺形の面積を求める問題を考える。	・面積を求める公式を想起させる。
練習	0.5	既習事項の理解を深める。	分数の乗法適用の文章題を解く。 分数の乗法の計算をする。	
分数 ÷ 分数	4	分数でわる意味と立式のしかたを理解する。	(分数) ÷ (分数) の立式をする。 1dlのペンキで塗れる面積を、図を使って調べる。 答えの求め方を考える。	・面積図だけではなく、いろいろな計算のしかたを考えさせ、多面的に計算のしくみをとらえさせる。

11月上旬	1	同分母分数の加法，減法の計算の習熟を図る。	同分母分数の加法，減法の計算をし，式と答えを線で結び，暗号を解く。同じような暗号の問題を作る。							
7 図形の角 (6時間+選択1時間)										
評価規準		【関】 三角形の内角の和を適用するよさに気づき，これを積極的に活用しようとする。 【考】 三角形の内角の和の性質を発展的にとらえ，多角形の内角の和を考えることができる。 【表】 三角形の内角の和を用いて，多角形の内角の和を求めることができる。 【知】 三角形の内角の和が180度であること，多角形の内角の和は三角形に分けて求められることがわかる。								
月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点					
11月上旬から11月中旬	三角形の角	2	三角形の内角の和は，形や大きさに関係なく，すべて180度であることを理解する。	直角三角形の直角以外の2つの角の和を調べる。 いろいろな三角形の内角を，分度器で測定したり，3つの内角を切り取って合わせてみたりして調べる。	・角度に着目してきまりを発見させるとともに，どの三角形の場合にもあてはまることに気づかせる。					
			三角形の内角の和を使い，角度を計算で求める方法を理解する。	計算して三角形の内角を求め，その外角を求める。	・三角形の内角の和は180度であることの定着を図る。					
	四角形の角	2	四角形の内角の和は，360度になることを理解する。	四角形の内角を測ったり，四角形を三角形に分けたり，しきつめたりして，内角の和を求める。	・三角形の内角の和を活用して求められるようにする。					
			四角形のしきつめを通して四角形の性質を理解する。	合同な四角形をしきつめ，四角形がしきつめられる理由を考える。 折り込みの図をつかって実際にしきつめさせる。						
多角形の角	1	多角形の内角の和の求め方を理解する。	五角形や六角形の内角の和を調べるとともに，多角形や対角線の意味を考える。多角形の内角の和についてまとめる。	・三角形の内角の和が180度であることを使って求めさせる。						
						3	2	どんな式になるかな		
									(分数)÷(分数)の計算のしかたを考える。	(まゆみさんの考え),(ゆうたさんの考え)を理解する。 教科書の解法を参考にさせ，2人の計算のしかたについて，説明できるようにさせる。
									(分数)÷(分数)の計算のしかたを理解する。	(よし子さんの考え)を理解し，分数の除法の方法をまとめる。
									(分数)÷(分数)の計算で，計算の途中での約分のしかたを理解する。 (整数)÷(分数)の計算のしかたを理解する。	計算の途中の約分のしかたを考える。整数を分数の形にすると，(分数)÷(分数)の計算になることを知る。
									分数の乗法や除法を適用する問題で，その数量の関係をとらえて演算決定し，問題解決できる。	文章題を数直線に表す。問題の中の数値を簡単にして，問題の構造をつかむ。立式して解決する。
									分数の乗法や除法を適用する問題作りを通して，分数の乗法や除法の使われる場面についての理解を深める。	(分数)×(分数)で答えを求める文章題を解く。最初の問題をもとにして作られた問題を解く。最初の問題をもとにして，乗法や除法を適用する問題を作り，その問題を解く。
										・どれか1つの方法で，計算のしかたを説明できるようにさせる。 ・(分数)÷(分数)の計算を途中で約分するよさに気づかせる。

練習	0.5	既習事項の理解を深める。	三角形，四角形，五角形，六角形の内角の和を計算で求める。	・二等辺三角形や平行四辺形の性質から，角度を求められるようにする。		練習	1	既習事項の理解を深める。	(分数) × (分数), (分数) ÷ (分数) の計算のしかたをまとめる。計算の練習をする。適用問題を解く。	
力だめし	0.5	既習事項の確かめをする。	三角形，四角形の内角の和を計算で求める。八角形の内角の和を求める。							
三角じょうぎの作る角				(選択1時間)						
11月中旬	1	2つの三角定規を組み合わせてできる角の大きさを，計算で求めることができる。	2つの三角定規を組み合わせてできる角の大きさを，いろいろな方法で求める。重ねる角度を変えてできる角の大きさを考える。資料	・角の大きさについての性質をもとに，順序よく角の大きさを求めさせる。		計算のきまり	1	既習の計算のきまり(交換法則，結合法則，分配法則)が，分数においても適用できることを理解する。	体積を求める問題場面において，結合法則が使えることを確認する。交換法則や分配法則が，分数の計算にも適用できるかを調べる。	・既習の計算のきまりについては，記号の式のみで表示するのではなく，具体的な数を入れて確認する。
角形の角の大きさの和				(選択1時間)						
11月中旬	1	多角形の内角の和を，1つの頂点から引いた対角線でできる三角形の個数から求めることができる。	七角形，八角形，九角形の内角の和を求め，表にまとめる。表からきまりを見つけ，言葉の式を考える。言葉の式から，十二角形の内角の和を求める。	・三角形の内角の和を活用し，多角形の内角の和を求める言葉の式を考えさせる。						
高さくらべ				(2時間)						
評価規準		【関】 2つの量を関係づけてみようとする。 【考】 数直線や図などを用いて，整数倍と同じように小数倍を考えることができる。 【表】 小数倍であっても，何倍かを求めるのに除法を，また，何倍かにあたる大きさを求めるのに乗法を使うことができる。 【知】 倍について，小数倍になることがあっても考え方は整数倍と変わらないことがわかる。				力だめし	1	既習事項の確かめをする。	計算の練習をする。適用問題を解く。分数を面積公式に適用する。	
月	小単元	時間	ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点					
11月中旬		1	小数倍の意味を知り，何倍かを求めることができる。	整数倍になる場合を考える。もとにするものより小さい場合は，1より小さい小数倍になることを知る。	・数直線や図などを用いて，整数倍と同じように考えさせる。					
		1	何倍(小数倍)にあたる大きさの求め方を理解する。	整数倍にあたる大きさを求める。1より小さい小数倍を求めることの意味を知る。				分数の計算問題を作ろう	(選択1時間)	
		1					1	既習事項をもとに，条件にあった(分数) × (分数) の計算を考える。	いろいろな(分数) × (分数) の計算を作る。与えられた積になる(分数) × (分数) の計算を作る。	

				見つけられるかな パート2 (選択1時間)	
1	既習事項をもとに、条件にあった(分数)×(分数)の計算を考慮することができる。	答えが整数となる、(分数)×(分数)の計算の式を考える。	・ 試行錯誤するだけでなく、積を整数にするためのくふうについて話し合う場を設定する。		
		わり算がかけ算に変身 - 逆数 -		(選択1時間)	
1	逆数を理解し、逆数を用いて除法の計算をすることができる。	積が1になる乗法の、被乗数と乗数のきまりについて考える。 逆数の意味と用語を知る。 整数、小数、分数の逆数を求める。 逆数を使って、除法を乗法に変身させる。 逆数を使った計算練習をする。			

8 図形の面積 (13時間+選択1時間)						倍と割合 (3時間)					
評価 規 準	【関】 図形の求積に必要な部分の長さに着目して、計算で面積を求めようとする。 【考】 既習の求積方法をもとにして、倍積変形・等積変形などの操作を通して図形の面積を求めることができる。 【表】 求積公式を活用し、基本的な図形の面積を求めることができる。 【知】 平行四辺形、三角形の面積の求め方や求積公式の意味がわかる。					【関】 2量の関係の割合を倍で表そうとする。 【考】 もとにする量を1としたときの比べられる量の割合を図をもとに考えることができる。 【表】 倍を使って、割合を表すことができる。 【知】 倍を使って、割合を表すこともあることがわかる。					
月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
11月 下旬 から 12月 中旬	平行四 辺形 の面 積	4	平行四辺形を長方形に等積変形して、面積を求めることができる。平行四辺形の面積を求めるために必要な長さがわかる。	まわりの長さが等しい長方形と平行四辺形の面積の大小について話し合う。平行四辺形の面積の求め方を考える。平行四辺形を長方形に等積変形すれば、面積が求められることに気づく。	・ 横の辺に対して垂直な直線で切って移動すれば、長方形になることに気づかせる。		1	割合は、倍を使って表すこともあることを知る。	2つの橋の長さを比べ、一方の橋の長さをもとにしたときのもう一方の橋の長さの割合を、倍を使って表す。	・ 何をもとにするのかきちんとおさえる。	
			底辺、高さという用語を知り、平行四辺形の求積公式を理解する。平行四辺形の必要な長さを測り、面積を求めることができる。	平行四辺形の面積を求めるために、必要な長さを考える。平行四辺形の面積を求めるために必要な長さについてまとめ、求積公式を作る。平行四辺形の必要な長さを測って、面積を求める。	・ 平行四辺形の高さが等積変形したときのどこの長さになるかに着目させる。 ・ 底辺に対して高さが決まることを理解させるようにする。			割合(倍)を分数倍で表すことができる。	ソフトボール投げの記録を平均と比べ、その割合を分数で表す。もとにする量の方が大きい場合の割合を求める。	・ 既習事項の小数倍との関連もおさえる。	
			平行四辺形の高さがわかりにくい場合に	底辺に垂直に引いた直線が向かい合った辺に交わらない場合について、面積の求	・ 底辺と高さの等しい平行四辺形			割合が分数倍で表されている2量で、比	もとにする量と割合がわかっている場面で、比べられる量を求める問題を解く。	・ 「もとにする量」「比べられる量」	

		ついで、面積の求め方を考える。	め方を考える。 高さの測り方に気づく。 底辺と高さの等しい平行四辺形は、面積が等しいことに気づく。	をたくさんかかせてみるとよい。		べられる量やもとにする量を求めることができる。	比べられる量と割合がわかっている場合で、ものにする量を求める問題を解く。	「割合」という言葉を用い、言葉の式で表してその関係をとらえさせる。		
		平行四辺形の面積と高さから、底辺の長さを求めることができる。	平行四辺形の面積と高さがわかっている場合に、底辺の長さの求め方を考える。 平行四辺形の求積公式をもとにして、底辺の長さを求める。 条件にあった平行四辺形をかく。	・いろいろな平行四辺形ができることにも気づかせたい。		9 およその面積 (2時間)				
						【関】身近な図形の概形をとらえて、その面積をくふうして求めようとする。 【考】身近な図形について、その概形をとらえることができる。 【表】身近な図形のおよその面積を求めることができる。 【知】概形をとらえることで、図形のおよその面積を求めることができることがわかる。				
						小単元 時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	
							1	形の概形をとらえて、面積を概測する方法を理解する。	きちんとした形でないものの面積を、方眼の数を数えたり、およその形と見たりして求積する。	・どの部分に着目すれば求積公式が使えるかを判断させる。
三角形の面積	4	三角形を既習の図形(長方形・平行四辺形)に変形したり、倍積変形のしかたをくふうして三角形の面積を考えることができる。	形の概形からおよその形(三角形)がとらえられる問題 平行四辺形や長方形をもとにして、三角形の面積を求める。 三角形の求積公式を考える。	・どうすれば既習の図形に変形できるか考えさせる。			1	地図を使って、いろいろな面積を求めることができる。 形の概形からおよその形(三角形)がとらえられる問題 資料 地図上の面積を、方眼に写し面積を求める。 概形を基本的な図形と見て、面積を求める。 前時の学習をもとに考えさせる。	・概形を基本的な図形と見るようにさせる。	
		三角形の面積を求める公式を理解する。 三角形の底辺と高さの関係を理解し、三角形の求積公式の理解を深める。	前時で調べたことをもとにして、三角形の求積公式をまとめる。 三角形の面積を求める場合、底辺と高さが相対的に決まることを、操作を通して理解する。	・底辺と高さの関係を理解させる。		10 比 (7時間+選択1時間)				
						【関】比のよさに気づき、2つの数量の関係を比を用いて表したり、問題の解決に比を活用したりしようとする。 【考】比や等しい比の性質を活用して、問題を解決することができる。 【表】比を用いて、2つの数量の関係を表したり、等しい比を作ったりすることができる。 【知】比の意味、比が等しいということの意味がわかる。				
						小単元 時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	
						比	1	比の表し方を理解し、比を用いることができる。 長方形の縦と横の長さの割合の表し方について考え、比を用いた割合の表し方を知る。 水と濃い乳酸飲料の割合を比で表す。	・魚の形で直感的な判断を大切にしたい。	
		頂点から底辺に引いた垂線(高さ)が、底辺の延長上で交わる場合の三角形の面積の求め方を理解する。 三角形の高さについての理解を深める。	三角形の高さが底辺の延長上にいく場合の面積をくふうして求める。	・既習の図形に変形すれば公式が適用できることから考えさせる。		等しい比	4	等しい比について理解する。 2つの長方形の縦と横の長さについて、横の長さをもとにしたときの縦の長さの割合を求め、比較する。 比が等しいということの意味と表し方をまとめる。	・2つの比が等しいということの意味をしっかりとつかませる。	

		底辺も高さも等しい三角形の面積は形が変わっても、どれも等しいことを理解する。 三角形の面積と底辺の長さから、高さを求めることができる。	底辺の長さと高さが等しいいくつかの三角形の面積を求め、面積が等しくなることを確かめる。 直角三角形の斜辺を底辺としたときの高さを求める。	・三角形の求積公式をもとに考えさせる。			等しい2つの比の間に成り立つ性質を理解する。	$A : B = A \times n : B \times n$, $A : B = A \div m : B \div m$ であることを知る。	
いろいろな面積の形	1	一般四角形は、いくつかの三角形に分けると、面積が求められることに気づく。 台形は、3か所の長さを調べれば計算で面積が求められることに気づく。	一般四角形の面積の求め方を考える。 台形の面積の求め方を考える。	・既習の求積公式が使える形に変形して考えさせる。			等しい比の性質を活用することができる。	同じ濃さの乳酸飲料水の作り方を考える。 ($A : B = A \times n : B \times n$ の性質を活用) 同じ味のホットケーキの作り方を考える。 ($A : B = A \div n : B \div n$ の性質を活用)	・等しい比の性質を活用させる。
辺の長さと面積の関係	2	高さ一定の平行四辺形の底辺が2倍、3倍になると、面積も2倍、3倍になることを理解する。 底辺一定の平行四辺形の高さが2倍、3倍になると、面積も2倍、3倍になることを理解する。	平行四辺形の高さを固定して、底辺を2倍、3倍、...にしたときの面積を調べ、表にまとめる。 平行四辺形の底辺を固定して、高さを2倍、3倍、...にしたときの面積を調べ、表にまとめる。	・底辺と面積、高さとの関係を表にまとめて考えさせる。			比が等しいことを調べ、等しい比の性質を活用することができる。	2つの直角三角形(相似形)について、対応する2つの辺の比が等しいことを調べる。 等しい比の性質を活用して、影の長さをもとに木の高さを求める。	・実測できないものでも、等しい比の性質を活用することで、その数量を知ることができることという比のよさに気づかせる。
		底辺一定の三角形の高さが2倍、3倍になると、面積も2倍、3倍になることを理解する。 高さ一定の三角形の底辺が2倍、3倍になると、面積も2倍、3倍になることを理解する。	三角形の底辺を固定して、高さを2倍、3倍、...にしたときの面積を調べ、表にまとめる。 三角形の高さを固定して、底辺を2倍、3倍、...にしたときの面積を調べ、表にまとめる。 一般四角形の面積の求め方を考え、台形の面積の求め方を考える。	・底辺と面積、高さとの関係を表にまとめて考えさせる。		練習	1	既習事項の理解を深める。	割合を比で表す。 等しい比の性質を活用して、問題を解く。 比例式の問題を解く。
練習	1	既習事項の理解を深める。	平行四辺形や三角形の求積公式を確かめ、面積を求める。 いろいろな図形の面積を求める。 合同な平行四辺形を重ねたときの面積の変わり方を調べる。	・問題が解決できないときは、振り返って考えるように促す。		力だめし	1	既習事項の確かめをする。	等しい比の性質を活用して、問題を解く。 比例式の問題を解く。 図形の中に、等しい比を見つける。 2つの数量の比と差をもとにして、2つの数量を求める。
力だめし	1	既習事項の確かめをする。	いろいろな図形の面積を求める。 面積が等しい三角形をかき、等しいわけを説明する。 面積と高さがわかっている三角形の底辺の長さを求める。 くふうして面積を求める。			比を使って長さを測ろう (選択1時間)			
						1	比で表示された地図の縮尺を使って、地図上の長さや実際の長さを求めることができる。	実際の長さから、地図上の長さを求める。 地図上の長さを測って、実際の長さを求める。	

									何がかくれているのかな (選択1時間)
									1 等しい比についての理解を深める。 等しい比を見つけて、色を塗る。
									比で分けよう (選択1時間)
									1 比の性質を用いて、全体の数量を与えられた比に従って分ける。 全体の数量(周囲)を、与えられた比(長方形の縦と横の比)に従って分ける。与えられた条件で、面積を求める。 線分図と対応させて、問題の構造をとらえさせる。

公園をはかろう! (選択1時間)					単位量当たりの大きさでみる環境 (選択1時間)						
12月中旬	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
		1	五角形も三角形に分割すれば、面積が求められることに気づく。	五角形の形をした公園を3つの三角形に分割して、面積を求める。身の回りのいろいろな場所の面積を、グループごとに調べる。				1	単位量当たりの考えを用いて、いろいろな事象について考える。	空気中の二酸化炭素の量や1人当たりの量の変化を調べる。各国の空気中の二酸化炭素の量を見て、考察する。	・単位量当たりの考えを用いて、環境について考えさせる。
いろいろな面積 (選択1時間)					速さゲーム (選択1時間)						
12月中旬		1	辺の長さがわからなくても、方眼を使ったり、等積変形したりして面積を求めることができる。	方眼を利用して、三角形や四角形をかいて、面積を考える。五角形の面積をくふうして求める。	・方眼を利用すれば、面積を求めることに気づかせたい。			1	速さと時間と道のりの関係を表す式を使って、それぞれの量を求めることができる。	ゲームのルールを知る。速さゲームをして、道のりを求める。	
4×6÷2の形 (選択1時間)					一円玉は何枚あるかな (選択1時間)						
12月中旬		1	長方形の半分の面積をもつ形を考えることを通して、面積についての理解を深める。対角線が直交する図形の面積の求め方を考える。	縦4cm、横6cmの長方形の半分の面積をもつ形をいろいろ作る。作った形と4×6÷2のつながりを考える。ひし形のように、対角線が直交する四角形の面積も4×6÷2で求められることを説明する。	・公式化する必要はないが、いくつかの図形について共通することがあることに気づかせたい。			1	九九の答えの合計を求めるために、平均などを使ってくふうした計算方法を考えることができる。	一円玉の合計は、九九の答えの合計であることを知る。九九の答えの合計をくふうして計算する。	・平均の考えを、問題解決に活用させる。

復習 (2時間)					復習 (2時間)						
月			ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜			ねらい	学習活動	指導上の留意点
12月中旬			2学期の復習をする。	(小数)÷(小数)の計算練習をする。(小数)÷(小数)で求める文章題を解く。計算で角度を求める問題を解く。	・巻末にある解答と、問題の後にある関連単元番号を活用して、自己学習をさせるようにする。			2学期の復習をする。	単位量当たりの大きさの問題を解く。速さを秒速、時速で比べる。分数の乗法・除法の計算問題を解く。分数の計算を利用して考える。	・巻末にある解答と、問題の後にある関連単元番号を活用して、自己学習をさせるようにする。	
			2学期の復習をする。	三角形や四角形の面積を求める問題を解				2学期の復習をする。	分数の乗法を利用した問題を解く。		

	く。 同分母分数の加減の問題を解く。 整数の除法を用いる文章題を解く。 小数と分数の大小比較の問題を解く。				分数の除法を利用した問題を解く。 倍の考え方を利用した問題を解く。 比を簡単にする。 比を利用して問題を解く。
--	--	--	--	--	--

1 1 割合とグラフ (12時間+選択2時間)					1 1 比例 (12時間+選択1時間)						
月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
1 月 上 旬 か ら 1 月 下 旬	割 合	3	バスケットボールのシュートの成績を比べ方を考えることができる。シュートの成功率を数で表す方法を理解する。	3日間でのシュートの記録をもとに何日の成績がよかったかを話し合う。シュートの成績を数で表して比べる。	・実際にシュートの記録をとり、各自の成績を比較させる。	■	実 験 し て み よ う	2	紙の枚数と、重さや厚さとの関係を実際の活動を通して体験し、伴って変わる2つの数量の変わり方をつかむ。伴って変わる2つの量について、その増え方や減り方を大まかに予想する。	紙の枚数と重さの関係を調べるために、実際に紙の重さを測って表にまとめる。重さから枚数を求める方法を考える。紙の枚数と厚さとの関係を調べ、その結果を表にまとめる。厚さから枚数を求める方法を考える。	・表に表して調べさせる。
			いろいろな場面で割合の比べ方、求め方を理解する。	飛行機のコミグアイを数で表して比べる。「割合」という言葉と意味、求め方を知る。	・割合の求め方の習熟を図る。				実際に計測した結果を表に表し、それをもとに、伴って変わる2つの量の変わり方をつかませる。資料		
			全体の量とその部分の量の関係にない2つの量を比べるときにも、割合を使って表せることを知る。割合が1をこえることがあることを知る。	学級の人数で、女子の人数をもとにした男子の人数の割合を求める。学級の人数で、男子の人数をもとにした女子の人数の割合を求める。					比	5	実験したことから、紙の枚数と重さとの関係を調べる。比例の意味を理解する。
百 分 率	2	百分率の意味と表し方を理解する。	バスのコミグアイを表す割合を求める。もとにする量を100として、割合を表す。百分率の意味と表し方を知る。小数を百分率に、百分率を小数に直す。学校の前の道路を通る乗り物の割合を、乗り物の種類ごとに求め、百分率で表す。百分率の合計を求める。	・全体を100として考える百分率のよさを感じ得できるようにする。	■	比 例		実験したことから、紙の枚数と厚さとの関係を調べる。比例の意味を確認する。	紙の枚数と厚さの間にも、枚数と重さとの関係が成り立つか考える。紙の厚さから枚数を求める方法をいろいろと考え、枚数を求める。比例関係にあるものを見つける。	・表の横の関係をとらえさせる。	
		100%をこえる表し方を知る。身の回りから百分率表示されているものを探す。歩合の表し方を理解する。	百分率で表したとき、100%をこえる場合について考える。身の回りから、百分率表示のものを探す。歩合の表し方を知る。	・裏表紙の資料を参考にする。				比例の意味をまとめる。針金の長さや、1/2倍、1/3倍になった場合、針金の長さや重さの2量の変わるようすを調べ、比例の意味の理解を深める。	比例の定義を知る。針金の長さが1.5倍、2.5倍になった場合や、1/2倍、1/3倍になった場合に、針金の重さがどのように変わるかを調べる。	・表から2量の関係をとらえさせる。	

割合を使う問題	3	もとにする量と割合がわかっているとき、比べられる量の大きさを乗法で求められることを理解する。	24m ² の25%の面積を求める問題について考える。 比べられる量を求める式を、言葉の式で表す。	・数直線を手がかりに求めさせる。			水の量と水の深さの関係をもとに、比例のきまりについて理解する。 言葉の式が表している意味を理解し、活用する。	水そうに入れた水の量と、水の深さの関係を調べる。 深さ÷水の量の値を求め、それが何を表しているのかを考える。 1ℓ当たりの水の深さ(きまった数)を求めて、言葉の式に書き表す。	・表の縦のの関係をとらえさせる。		
		比べられる量と割合がわかっているとき、もとにする量の求め方を理解する。	畑全体の20%が60m ² である場合の畑全体の面積を求める問題を考える。 もとにする量をとして、比べられる量を求める式にあてはめて考える。	・言葉の式の理解を深める。			比例の関係を言葉の式に表して理解する。	針金の長さとう重さの表から決まった数を求め、関係を式に表す。 言葉の式で表す練習をする。			
		割合が1-pになる場合の比べられる量の求め方を理解する。	定価1500円の20%引きで買うといくら安くしてもらったことになるかという問題を考える。 いくらで買ったかということをもとに、定価の80%で買ったと考えることもできることを知る。	・数直線などを手がかりにして考えさせる。			比例のグラフ	2	比例する2つの量の関係をグラフに表すと、縦の軸と横の軸が交わる点(原点)を通る直線になることを理解する。	水そうに入れた水の量と深さの関係を調べ、表に表す。 グラフに表し、どんなグラフになるか調べる。 比例関係を表すグラフの特徴を知る。	・いくつかの対応する値の組を表に表し、それをもとにしてグラフを作らせる。
割合を表すグラフ	2	帯グラフの意味、よみ方・かき方を理解し、帯グラフをかくことができる。	交通量の帯グラフから、全体に対する部分の割合や台数を求める。 帯グラフを知る。 交通事故の原因の調査結果を帯グラフに表す。	・帯グラフの有用さに気づけるようにする。			グラフから数量の関係をよみとることができる。	グラフから対応する数量をよみとる。 グラフからさまざまな情報をよみとる。			
		円グラフの意味、よみ方・かき方を理解し、円グラフをかくことができる。	図書室の本の調査の円グラフから、全体に対する部分の割合や冊数を求める。 けがの種類を表から、それぞれの割合を求める。 求めた割合をもとに円グラフをかく。	・円グラフの有用さに気づけるようにする。			1	コーラの中に含まれる砂糖の量を求めるのに、比例の関係が使えることを知る。 比例関係にあるときの問題解決のしかたを理解する。	コーラの量とコーラの中に含まれる砂糖の量との関係を調べる。 コーラ250mℓの中に含まれる砂糖の量を比例の定義を用いて求める。 コーラ180mℓの中に含まれる砂糖の量を式から求める。	・数直線なども用いて、数量関係をとらえさせる。 ・比例関係にあることをしっかりとおさえ、定義もとづいたり、式に表したりして求めさせる。	
練習	1	既習事項の理解を深める。	正答率や勝率を求める。 もとにする量や比べられる量を確認しながら、文章題を解決する。	・問題が解決できないときは、振り返って考えるように促す。			練習	1	既習事項の理解を深める。	比例の関係を表に表す。 表をもとに、比例の関係を言葉の式に表す。 比例の関係を、表やグラフに表す。	
力だめし	1	既習事項の確かめをする。	輪投げの成績に関する問題を解く。 もとにする量や比べられる量を確認しながら、文章題を解決する。				力だめし		既習事項の確かめをする。	比例の関係を、表、言葉の式、グラフに表す。 比例を使って、問題を解決する。 比例の関係をjつて、予測する。	

割合で見る環境 (選択2時間)					地球の環境を予測する (選択1時間)						
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
2月上旬		2	熱帯林の減少率を求め、熱帯林が減少していく問題に関心をもつ。	地域別に、10年間の熱帯林の減少面積と減少率を求める。表を見て、わかることについて話し合う。	・単位量当たりの考えを用いて、環境について考えさせる。		1	事象を予測するために、比例関係を活用することを理解する。	3つの予測をもとに、比例のグラフをかく。かいたグラフをもとにして、新たにわかることについて話し合う。	・地図帳等を参考にして、海面の上昇を実感させる。	
							どんなグラフになるのかな - 反比例 - (選択1時間)				
							小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
								1	反比例の意味を理解するとともに、簡単な場合について表やグラフを作成し、その特徴をつかむ。	面積一定となる長方形の、縦と横の辺の長さを求める。反比例の意味と用語を知る。反比例の関係について、表やグラフをもとにして、その特徴を考察する。身の回りで、反比例の関係にあるものを探す。	・単に一方が増えれば一方が減る事象を取り上げて、相違点を意識させる。
			紙の消費量調べから、紙の使い方に関心をもつ。	国別に1人分の紙の消費量を求める。表を見て、わかることについて話し合う。各国の人口の割合と、紙の消費量の割合を求め、円グラフにかく。円グラフを見て、わかることについて話し合う。資料	・割合や単位当たりの量の考え方を目的に応じて使うことのよさを感じさせる。		学校で使うものを調べよう (2時間)				
							評価 規 準		【関】 学校生活の中にある数量や数量関係を見出し、考察したり、発見したことを表現したりしようとする。 【考】 既習事項を総合的に活用して、生活の中にある数量や数量関係を考察することができる。 【表】 表から数量をよみとったり、気づいたことを言葉で表現したりすることができる。 【知】 自分たちの生活の中に、数値によって考察できる場面が数多く存在することがわかる。		
							小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点
								1	教科書にある課題を考えながら、身の回りに数値化できる場面が数多く存在していることを知る。	学校の水道使用量、給食の残り調べについて考え、自分たちの学校生活の中から調べてみようと思うものを探す。	・各校の状況に応じて、とり上げられそうなテーマを用意しておく。
人口を調べよう (選択2時間)											
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点						
2月上旬		2	年齢別の人口の割合をグラフに表し、人口についての傾向を調べる。	2002年の人口ピラミッドを作る。1950年と2002年の人口ピラミッドを比べ、話し合う。青森県や自分たちの都道府県の人口ピラミッドを作る。自分たちの都道府県と青森県の人口ピラミッドを比較して、共通点や相違点について話し合う。	・自分たちの都道府県の人口については、インターネット等を活用して調べる。						

グラフで見る学校 (2時間)				1	自分たちの学校についても調べ、まとめる。	調べるテーマを考え、数人のグループでまとめる。資料	算数の授業時間だけでなく、自主的な追求活動を促す。 ・社会にも目を向けさせて、同様な活動を促すために、新聞記事などから具体的に身近な資料を提示する。	
評価規準	【関】 学校のことについて調べたことを、表やグラフを使って表そうとする。 【考】 傾向や実態の表し方を考えることができる。 【表】 表やグラフを目的に合わせて適切に使うことができる。 【知】 表やグラフのよみ方やかき方についての理解を深める。							
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点			
2月上旬	2		学校のことについて調べたいことを決める。	何について調べるか、友だちと話し合いながら決める。 資料を集める。	・調べる内容や方法について、児童や学校の実態に合わせてアドバイスやヒントを与える。			
			学校について調べたことを、表し方を考え、表やグラフに表すことができる。	調べたことを表やグラフに表す。 気づいたことや考えたことをまとめる。 資料	・まとめたものを、子ども同士お互いに紹介しあうようにする。			
10円 (9時間+選択1時間)				電たく遊び	1	電卓で計算し、その答えから先を予想する。	電卓で計算する。 答えの数に着目して、その中にかくれている規則性を発見する。 その規則性を活用して、答えを求める。	
評価規準	【関】 円の円周と直径の関係を調べたり、求積できる図形をもとにして円の面積を求めたりしようとする。 【考】 円周と直径の間にある関係や、既習事項を生かした円の面積の求め方を考えることができる。 【表】 公式を用いて、円周や円の面積を求めることができる。 【知】 円周や円の面積を求める公式を作る過程を理解するとともに、公式を正しく使うことができる。							
月	小単元	時間	ねらい	学習活動	指導上の留意点			
2月上旬から2月	円の直径	3	円の直径と円周には一定の関係があることに気づく。	厚紙で直径10cm, 20cm, 30cmの円を作り、1回転させたときに進む距離を調べる。 直径40cmの円を1回転させたときに進む距離を予想する。 円の直径と円周には、ある一定の関係があることに気づく。	・調べた結果を表にまとめ活用させる。			
			円の円周と直径の関	いろいろな大きさの円の円周と直径を測	・どんな大きさの			
				数学の歴史から	3	+ や - の記号の由来や、日本の長さの単位、世界の面積の単位を知り、計算や測定に関心をもつ。	記号の由来について知る。 ものの長さを手足の一部で測った昔の話を読み、実際に測ったり、ものさしで確かめたりする。 農業から生まれた単位について知る。	・日本の数学の歴史に興味をもたせる。
						容積の単位の由来を		

下旬	と円周	係から円周率の意味を理解する。	り、その関係を調べる。「円周率」の用語と、その値3.14を知る。	円でも円周率は変わらないことに気づかせる。			知り、単位について興味を深める。	古栞と京栞の存在を知り、その容積を比べてみる。江戸時代の日本の数学について知る。		
		円周率を用いて、円周や直径の求め方を理解する。円周率を約3として、身の回りのものを概測する方法を理解する。	円周率を用いて、円周、直径を求める。円周率を約3として、木の直径などを概測する方法を知る。	・円周率を約3として身の回りのものを概測させる。			三角形に並んだ数の並びのおもしろさを知る。	パスカルの三角形から、いろいろな数の並び方に関するきまりを発見する。		
円	面積	5 方眼を用いて、円の面積の求め方を考えることができる。完全な方眼でないところの数え方をくふうする。	半径10cmの円を方眼紙に書いて、その面積を調べる。円周が通っている方眼をどれも0.5cm ² と見て、およその面積を求める。	・1cm ² の正方形がいくつ分かということを考えさせる。			表を使って問題を解く	2 鶴亀算を、表を使って考えることができる。	問題の場面を表に整理する。表の中から規則性を発見する。その規則性を活用して問題を解決する。	・古くから鶴亀算の解法を知らせ、表による解法と比べさせてもよい。
		既習の図形に等積変形して、円の面積を求めることができる。円の求積公式を導き出すことができる。	円を半径で16等分、32等分したおうぎ形を、求積公式を知っている形に並べかえる。長方形に並べ替えた場合について考え、求積公式を導き出す。	・折り込みの図を利用する。 ・これまでにどんな形の求積公式を学習したかを思い出させ、その形が作れないかを考えさせる。			変化の様子を表に表し、そこにある関数関係を見出す。	いろいろな関数関係を見出す。表とグラフの関連を考える。 いろいろな変化のようすについて考えさせる。		
		長方形以外の形に等積変形した考えをもとにして、円の求積公式を導き出すことができる。	前時に考えた長方形以外の形の求積公式から円の求積公式を作る。どの形をもとにしても(半径)×(半径)×3.14という公式にたどりつくことを見つける。	・p.46のたかおさんややす子さんの考え以外にも、いろいろな形が考えられる。			きまりをさがす	2 おはじきの並び方のきまりに着目して、おはじきの総数を求めることができる。	おはじきを正三角形の形に並べるとき、おはじきの数の増え方を考える。おはじきを正三角形の形に並べるとき、おはじきの個数の総和を求める。	
		公式を適用して円の面積を求めることができる。円の直径が2倍になったときの円周の長さや面積は何倍になるかがわかる。	公式を用いて、円の面積を求める。円の直径が2倍になったときに、円周の長さや面積は何倍になるかを調べる。	・円の求積公式の理解を深める。				おだんごの積み方のきまりを考える。	おだんごを正方形の形に並べるとき、1辺の数が1ずつ増えると全体の個数がどのように増えるかを考える。 増え方のきまりを見つけさせ、それを使って問題を解かせる。	
		半円や、正方形と四分円を組み合わせた図形についての問題に、公式を適用することができる。	半円の周りの長さや面積を求める。正方形と四分円を組み合わせた図形について、曲線の長さや面積を求める。半円を2つ組み合わせた図形の面積を求める。	・これまで学習した公式を半円に適用させる。			ためしてみよう	4 倍々の増え方に興味をもち、計算のしかたをくふうする。	倍々の考え方を理解する。倍々の増え方を体感する。	・電卓を活用させるが、8桁電卓の表示限界を越すので、計算方法を考えさせたい。
練習	0.5 既習事項の理解を深める。	円の円周の長さ、面積を求める。半径が1cmちがう円の円周と面積のちがいを求める。半円を組み合わせた図形の面積と周り	・円の円周の長さ、面積を確実に求められるようにする。 ・問題が解決でき				いろいろな平面図形の面積がただ1つの公式で求められることを理解する。	平面図形の中に中央線を引き、それを活用して面積が求められることを知る。	・他にも、中央線×高さで面積が求められる図形がないか探させる。	

				の長さを求める。	ないときは、振り返って考えるように促す。						
力 だ め し	0.5		既習事項の確かめをする。	円の円周や面積を求める。 円周から直径や面積を求める。 円やその一部分と正方形などを組み合わせた図形の面積を求める。	・円の円周の長さ、面積を確実に求められるようにする。						
運動場にコースをかこう！				(選択1時間)							
月	小単元	時間	ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点						
2月 下旬		1	円周を求める公式を活用して、問題を解決する。	半円を使って、100m競走のコースを作るときの直線の長さを考える。 セパレートコースのスタートの位置を考える。資料							
草が食べられるのは、どのはんい				(選択1時間)							
月	小単元	時間	ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点						
2月 下旬			ロープの届く範囲は、おうぎ形になることがわかる。 円周を求める公式を活用して、問題を解決する。	牛が草を食べられる範囲を考える。 草を食べられる範囲の面積を求める。	・実際にひもなどを用いて、ロープの動き方をとらえさせる。						
円周率の歴史				(1時間)							
月	小単元	時間	ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点						
2月 下旬		1	円周率に興味をもつ。	円周率の歴史を知る。							
								立方体の展開図について考える。		立方体の展開図を組み立てたとき、「さんすう」の文字が並ぶように、面のつながりの関係を考える。 実際に作って、確かめてみる。	
								一筆がきを知り、一筆がきができる図形に共通な特徴を考える。		一筆がきを楽しみ、一筆がきができる図形とできない図形があることを知る。 一筆がきができる図形にはきまりがあることを知る。	

1 1 5年のまとめ (8時間)				1 2 算数のまとめ (8時間)			
評価 規 準	【関】 5年生で学習したことを見直し、学習のまとめをしようとする。 【考】 既習の見方・考え方を確かめたり、その関係を考えたりすることができる。 【表】 既習の計算や作図が適切にできる。 【知】 既習の用語や定義・性質がわかる。			評価 規 準	【関】 既習事項を活用して問題解決に取り組み、自分の学習課題を把握して、学習を進めようとする。 【考】 6年までに身につけた領域別の数学的な考え方や処理のしかたのよさ、有用性を的確にとらえ、活用することができる。 【表】 領域別の基礎的・基本的事項を活用して、問題を解くことができる。 【知】 数量や図形についての概念や性質、技能などについて理解している。		

月	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点	指導の傾斜	小単元	時間	ね ら い	学 習 活 動	指導上の留意点
3月 月上旬から 3月中旬	台所から考える	2	学習したことを身の回りの場面に適用させて考えることができる。	みそ汁や油でよごれた水をきれいにするにはどのくらいのの水が必要なのか考える。 油でよごれた水をきれいにするには、どのくらいの水が必要か考える。 川や海をきれいなままにするためにできることを考えて、話し合ったり、まとめたりする。	・環境教育の視点からの指導にも配慮する。		数と計算	2	「数と計算」に関する基本的事項をまとめる。	整数，小数，分数の仕組みをまとめる。	
			数学的に処理された内容，結果から何が読みとれるか話し合ったり，環境について見つめ直し，生活を見直したりする。	持ち寄ったり，提示された資料から算数の問題を作り，既習事項を生かして解く。	・身の回りの事象や資料を算数的に処理するよさに気づかせる。				「数と計算」に関する基本的事項をまとめる。	整数，小数，分数の関係をまとめる。 計算のしかたをまとめる。 整数の性質をまとめる。	
数と計算	2	2	数と計算の問題を解き，既習事項の理解を深める。	100倍，1/100の数を求める。 小数の乗法・除法の計算をする。 同分母分数の加法・減法の計算をする。 分数，小数の大小比較をする。 分数や小数を数直線上に表す。			量と測定	2	「量と測定」に関する基本的事項をまとめる。	量の単位についてまとめる。 単位換算の問題を解く。 面積の求め方についてまとめる。	
			数と計算の問題を解き，既習事項の理解を深める。	小数の乗法の計算を適用させる文章題を解く。 ÷7の に整数を入れて計算し，そのひみつを探る。					「量と測定」に関する基本的事項をまとめる。	体積の求め方についてまとめる。 速さについてまとめる。	
量と測定	2	2	量と測定の問題を解き，既習事項の理解を深める。	いろいろな三角形や四角形の面積を求める。 円の円周と面積を求める。			図形	2	「図形」に関する基本的事項をまとめることができる。	四角形の性質をまとめる。 多角形の内角についてまとめる。 立体の構成要素についてまとめる。	
			量と測定の問題を解き，既習事項の理解を深める。	円の円周や面積を求める公式を適用させる問題を解く。 円の外に1m離れて円をかくと，その円周は中の円の直径に関係なく，同じ長さだけ長くなるわけを考える。					「図形」に関する基本的事項をまとめることができる。	三角形や四角形をかく。 直方体の展開図をかく。	
図形	1	1	図形の問題を解き，既習事項の理解を深める。	角度を計算で求める。 平行四辺形，ひし形，台形をかく。 たくさんの直線から曲線が見えてくるような作図をする。			数量関係	2	「数量関係」に関する基本的事項をまとめる。	数量関係を表すためのグラフを選ぶ。 表を見て割合を求める。 比を使った問題を解く。	
数量関係	1	1	数量関係の問題を解き，既習事項の理解を深める。	割合，比べられる量，もとにする量を求める。 円グラフをよみ取る。 指数を知り，表やグラフに表す。	・指数についてはそういう表し方があることを知る程度でよい。				「数量関係」に関する基本的事項をまとめる。	比例関係をとらえる。 比例関係を式やグラフで表す。	